

防災講座「避難生活を学ぶ」 8回目

太陽の丘町内会便り

平成27年12月19日

菅山公民館 19時～

若杉正則

本日のテーマ「避難生活の困りごと」

在宅避難生活の場合と指定避難所での避難生活の困りごと

次第は

- 1、 オリエンテーション
- 2、 在宅避難生活での「困りごと」
用紙に備蓄食・備蓄品の日数を記入 その先不足することが「困りごと」
我が家に何日分の蓄えがあるか？
- 3、 指定避難所で避難生活での「困りごと」
菅山小学校が避難所となった場合「着のみ着のままで避難してきた場合」を想定
- 4、 次回講座の説明 閉会
今日出された「困りごと」に対しての牧之原市の対応は？
危機管理課から講師を招き「意見交換」をします。
「意見交換」を通して我々が備えなくては成らないものを知ること。

- 1、 オリエンテーションで本日の次第と進行状況を説明した後、

今年の漢字一文字は「**安**」でした
大規模災害時に於いても「**安**」で支えられていますか？



「安心」「安全」「安定」とは

- 「安心」とは「災害リスク」のない環境です。
津波浸水・土砂災害・洪水災害の無い環境
隣家からの火災延焼が無い、景観の良い静かな環境
- 「安全」とは「耐震化された住宅、家具の固定、ガラスの飛散防止」
がされた住まいで大規模災害でも住み続けられる。
- 「安定」とは安定した収入があることを言いますがここでは
水・食料の備蓄食、生活必需品の備蓄品が十分備え
ている。
- 全てが揃って無くてもそれに対する対策・対応が出来ているか

私の漢字一文字は常に「**備**」です。「**知足**」

• 災害に備える「**備災**」です。

• 不安の払拭に努める。

我々が目指すもの

防災 = **✖** 減災 = **✖**

備災 = **◯**

災害に備える 在宅避難生活

2、 在宅避難生活での「困りごと」

困りごと	発災直後	3日目	7日目	10日目	2週間	3週間	4週間
トイレ							
飲料水							
生活用水							
食料							
電気・照明							
医院・常備薬							
風呂・洗濯							
感染症対策							
1							
2							

下記の表は若杉の備蓄品の状況です。

在宅避難生活での困りごと 30日程度で計画

困りごと	発災直後	3日目	7日目	10日目	2週間	3週間	4週間
トイレ	携帯トイレ60回分（大便に使用）簡易トイレ（小便に使用予定の計画により廃棄）携帯トイレ40回分増量						
飲料水	1日3ℓ*2人*30日=180ℓ 沸かして飲用 カセットコンロ2台 ガスカートリッジ20本備蓄						
生活用水	1日5ℓ*2人*30日=300ℓ						
食料	1日2食*2人*30日=120食 アルファーマ、レトルト食で対応 冷蔵庫にあるものを優先して使用						
電気・照明	発電機1日7時間使用 ガソリン1日5ℓ 10日間 電気の復旧10日後と想定						
医院・常備薬	常備薬2週間分用意 医院・薬局の再開10日後 常備薬さらに2週間分増量						
風呂・洗濯	予定の計画により雨水を利用3日に1度ガス風呂LPガス10キロ備蓄 その間清拭タオルで体を拭く						
感染症対策	マスク・手洗・うがい・手指の消毒 マスク120枚 消毒液の備蓄						
暖房	灯油1日5ℓ*20日=100ℓ 20リットル缶5本備蓄 携帯カイロ120枚備蓄 防寒着						
2							

概ね30日程度を想定しています。それ以後は品切れとなりますので「困りごと」となります。発電機用のガソリンや暖房用の灯油は10日間、20日間で切れます。

3、 指定避難所で避難生活での「困りごと」

(菅山小学校が避難所となった場合着の身着のまま避難してきた場合)

指定避難所での 避難生活の困りごと (家屋全壊・流失 着のみ着のまま避難)

困りごと	発災直後	3日目	7日目	10日目	2週間	3週間	4週間
トイレ							
飲料水							
食事・食料							
電気・照明							
着る物・毛布							
医院・常備薬							
風呂・洗濯							
感染症対策							
冷房・暖房							
スペース 間仕切							
生活必需品							
ミルク・哺乳 瓶・離乳食							
オムツ・清拭 布・毛布・肌着							
介護用品							
要援護者対策 介護度	福祉避難所						
1							
2							
3							
4							
5							

避難所に事前に備蓄されたものがあればそれらを活用できるが、無い場合にはその時点から「困りごと」となる。事前に備えて置くことの大切さをわかっていただきたい。

在宅避難生活での困りごと

平成27年12月19日

「避難生活を学ぶ」の講座で「在宅避難生活での困りごと」をワークショップで意見交換をしました。その結果下記のような困りごとが出されました。

	困りごと
トイレ	携帯トイレの備蓄にも限りがあり長期になると排泄に困る。 ○合併浄化槽型トイレ 電気・水道の停止により使用できなくなる。電気・水道の復旧はいつ頃を想定しているか。

	<p>強烈な地震動により配管等が破損した場合修理の依頼は？</p> <p>長期の使用停止により浄化のためのバクテリアが死滅して復旧しても使えないのでは？</p> <p>○汲み取り型トイレ（簡易水洗トイレ）</p> <p>地震発生後も使用できると思うが汲み取り業者（東環クリーン）が沿岸部にあり清掃車が使用できない時の代替え案は用意しているか？ 東環クリーンのBCPは？</p> <p>避難所の仮設トイレの汲み取りが優先され個人で在宅避難している家には来てくれるのか？</p>
飲料水 食料	<p>飲料水や食料の備蓄にも限度があり長期になると困る。</p> <p>緊急支援物資は何日後に届くと想定していますか？避難所を優先して在宅避難者には配布されますか？その配布場所はどこになりますか？</p> <p>給水車は何台保有していますか？応援体制は取られていますか？給水はペットボトルで配給する方が効率的と思いますがその体制は取れますか？</p> <p>食料はどのようなものが配給されますか？</p> <p>乳幼児用のミルクや離乳食、介護食などは届きますか？</p>
電気照明	<p>電気の復旧はいつごろと想定していますか？</p> <p>電気を通電する前に家屋の漏電検査が行われると思いますがその手順は？</p> <p>照明を蝋燭で行う人もいると思いますが裸火は余震が起きた時危険と思いますが？</p> <p>懐中電灯で照明を得る人には電池が必要ですが配給されますか？</p> <p>発電機で電気を賄う人もいますが燃料の供給は有りますか？</p> <p>スタンドが開設されたとしても公用車が優先され個人には給油されますか？</p>
医院薬局	<p>医院・薬局の再開はいつごろと想定していますか？</p> <p>常備薬は何日分用意した方が良いですか？</p> <p>榛原総合病院が救護病院となっていますが津波で浸水した時の代替え救護病院はどこですか？総合グランドが第一次救護所になっていますが避難地にもなっていますのでその機能（トリアージ等）を発揮できますか？</p> <p>けが人は救護所へ搬送しますが急病人、透析患者、通院患者はどこに搬送しますか？</p>
風呂洗濯	<p>電気・水道が復旧されない限り出来ないと思いますが、自衛隊等による風呂・洗濯の支援は有りますか？子生まれ温泉、コインランドリーの復旧を優先する事は？</p>

指定避難所での困りごと（着の身着のまま避難してきた場合）

避難所	<p>避難所開設は応急危険度判定後と聞いていますが誰がするのですか？</p> <p>避難所運営は誰がするのですか？避難者自身でと聞いていますができますか？</p> <p>避難所になる所には備蓄品があると思いますが何がどれだけありますか？</p> <p>菅山小学校の場合はどうですか？</p> <p>避難者が収容可能人数を超えて殺到した場合その対応は？</p> <p>プライバシーの確保は出来ますか？</p>
トイレ	<p>被災者は発災後直ぐに避難所に来ます。真っ先にしたくなるのがトイレです。</p> <p>その用意がありますか？水の使用が出来ないためトイレが糞尿で満杯になってしまうことが予想されます。誰が処理するのですか？例えば携帯トイレを避難者分用意したとして、だれが使い方を指導するのですか？</p>

	仮設トイレは何日後に搬入される想定ですか？その形態は洋式ですか和式ですか？ 障害者用のトイレは搬入されますか？ 仮設トイレは汲み取り式ですが汲み取りの体制は確保されていますか？
飲料水 食料	避難所となる所に飲料水と・食料の備蓄は有りますか？何人分で何日間？ 水・食料が支給されるのは何日後を想定していますか？ 支給される食料はどのようなものを想定していますか？アレルギーの対応は？ プールの水、川の水を浄化して飲料水に出来る装置がありますがその操作方法が熟知されていますか？
電気照明	照明の無い避難所は非常に不安です。防犯上も問題です。発電機・照明設備の用意はありますか？
着る物 毛布	着の身着のまま避難してきた場合せめて毛布があればと思いますが備蓄は有りますか？着替えや防寒着もありません緊急支援物資としていつ頃想定していますか？
医院 常備薬	お薬手帳がない人の対応は？避難所に医師、看護師、薬剤師、保健師の常駐は？
感染症対策	避難所に避難した人の中にインフルエンザ等の感染者がいた場合即座に蔓延します その対策は？マスク、手指の除菌剤は？手洗うがい 水の確保は？嘔吐物の処理
風呂洗濯	風呂、洗濯が出来ますか？子生まれ温泉等入浴施設の確保、コインランドリーの確保
暖房冷房	寒さ対策 暖房用ストーブは？ 携帯カイロは？
生活必需品	歯磨きセット、洗顔セット、生理用品、トイレットペーパー、化粧品等日用品の支援は有るのか、又注文はどこにするのか？
乳幼児用品	ミルク、離乳食、オムツ、肌着、毛布、入浴セット等 アレルギー対策は？
介護用品	オムツ・清拭布・毛布、介護食品の調達は？
要援護者対策	福祉避難所の開設はいつ？どこを予定していますか？

これ等緊急支援物資を受け取る所はどこですか 注文はできますか？流通が回復した場合打ち切られることがありますか？

5、 次回講座の説明 閉会

次回のテーマは「受援力を学ぶ」

今日出された「困りごと」に対しての牧之原市の対応は？

危機管理課から講師を招き「意見交換」をします。

「意見交換」を通して我々が備えなくては成らないものを知ること。

12月21日牧之原市危機管理課に提出いたしました。

次回1月16日（土）19時～の講座には講師として快く引き受けていただきました。

牧之原市の対応を知り大規模災害に対する「我が家の対策」を立てていただきたいと思います。

大規模災害が発生した時は市・県・国が総力を挙げて支援してくれます。時間がかかることは否めません。「自分の命は自分で守る、自分の家族の生活は自分が守る」

その時あなたの命と家族の命・生活は誰も守ってくれません。